

6/9 早福

「値上げ許容」発言撤回

衆院委員会 日銀総裁、批判受け

日銀の黒田東彦総裁は八日の衆院財務金融委員会で、批判を招いた「家計が値上げを受け入れている」という六日の講演での発言について、「表現は全く適切でなかった」と述べ、撤回した。黒田氏は七日に陳謝したばかりだが、事態の早

期收拾のため、中央銀行総裁として極めて異例な発言撤回に追い込まれた。立憲民主党の桜井周氏らの答弁。

なじみの商品の値段が10%上がった時にどうするか」という問いに対し、半数以上が「そのまま買おう」と答えた」とを紹介。

伝わったとし、「(日銀は)組織として大きく信頼を失った」と指摘した。黒田氏は「許容度」という表現について、日銀が家計の消費行動を分析する際、組織的に使っていたと説明。その上で「歓迎する

なじみ批判が噴出」、七日に「誤解を招く表現で申し訳ない」と陳謝した。

立憲民主党では立民の野田佳彦元首相も黒田氏を糾弾。現実を中銀や中銀総裁が理解していない」とが国民に

の選択としてやむを得ず受け入れているという意味だった」と弁明した。

渡辺教授のアンケートを引用した理由は「海外との比較もした新しいもので使つた」と述べた。

黒田氏は六日の共同通信あわらぶるの講演で、東大の渡辺篠教授が実施したア

ンケートで「なじみの店で

その後、インターネット上